

# 働くためのマインドチェンジ事業【四日市市】

個別事業費	2,071 千円
交付金額	1,020 千円

## 地域の実情と課題

本市の令和7年度の常用労働者(正社員)に占める女性割合が23.8%と低いことが影響し、市内事業所の管理職に占める女性割合は9.0%、女性管理職がない事業所は65.5%である。女性活躍推進のためには、次世代女性管理職候補者及び企業の意識変革が必要である。

併せて、三重県は、男性が女性より稼ぐ反面、家事・育児などは女性に偏る傾向にあることから、「男性が女性より働いて稼ぐもの」という固定的性別役割分担意識の解消を図る必要がある。

## 事業の特徴

- (1)女性従業員向けキャリアデザイン研修  
四日市市内の女性若手・中堅従業員等を対象に、対面講座を3回実施。講座最終日には受講生の交流会も実施。
- (2)啓発講演会「妻に稼がれる夫のジレンマ～共働き夫婦の性別役割意識をめぐって～」  
一般市民に向けて、固定的性別役割分担意識の解消を図るための啓発講演会を実施。

## 事業の効果

講演会では、「無意識のうちに固定概念があることに気づかされた」等、好評であり、アンケート回答者の8割弱の方が、「性別による固定的性別役割分担意識」について考えるきっかけになった」と回答された。また、女性従業員向けキャリアデザイン研修においても、受講を通じて前向きな意識の変化がみられた。以上のことから、働く世代含め広く市民の意識改革に一定程度寄与したと考えられる。

## 目的・目標

リーダー候補の女性従業員に対する研修と固定的性別役割分担意識の解消を目的とした啓発講演会を実施することで、女性がリーダーとして活躍できる地域社会づくりに向けてのマインド醸成を図ることを目的とする。

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	女性従業員のキャリアに対する前向きな意識変化	20%増 (アウトカム)	34%増 (令和8年2月28日時点)	170%
事業KPI	啓発講演会の参加者数	30人 (アウトプット)	47人 (令和7年10月5日時点)	157%

## 連携団体

四日市市商工部局、四日市市商工会議所、三重県、近隣自治体

## 今後の課題

本事業では、啓発講演会において、固定的性別役割分担意識の解消に焦点をあてて、働く世代を含む広く市民の意識改革を図ることを目的とした。併せてリーダー候補の女性従業員に対する研修を実施し、パッケージ事業として成果をあげることを目指した。各事業においては、一定程度の啓発効果が見られたものの、講演会と研修の連携が十分ではなかったことが課題である。今後は、講演会のテーマ設定を工夫し、各事業の申込者に対して、もう一方の講演会・研修への参加を促すなど、事業間で相乗効果を高めていく。

# 事業の概要

## 女性従業員向けキャリアデザイン研修

### キャリアデザイン研修

女性従業員を対象に、女性がさらに活躍することへの動機づけを図ることを目的とする。

1日目 令和7年11月12日(水)13:30～16:30

2日目 令和7年12月11日(木)13:30～16:30

3日目 令和8年 1月21日(水) 13:30～16:30

対象者 四日市市内に在住・在勤の若手・中堅女性従業員

参加者 12社15名

実施内容 対面・グループワーク主体で実施

### ロールモデル交流会

研修参加者間のネットワーク構築を図ることで、女性リーダーの増加に寄与できるようにする。

令和8年 1月21日(水) 16:30～17:30

場所：研修と同会場で実施

実施内容：研修参加者同士の交流会を実施。

四日市市 女性従業員向けキャリアデザイン研修

1日目 11/12 (水) 13:30～16:30

2日目 12/11 (木) 13:30～16:30

3日目 1/21 (水) 13:30～16:30

交流会 1月21日(水) 16:30～17:30

研修のご案内

お申し込み先

お申し込み先 10月22日(日)

会場案内

## 啓発講演会「妻に稼がれる夫のジレンマ～共働き夫婦の性別役割意識をめぐって～」

女性がリーダーとして活躍していくためには、「男性が女性より働いて稼ぐもの」という固定的性別役割分担意識の解消を図る必要があることから、性別による固定観念について広く市民に考えていただくことを目的とする。

日時 令和7年10月5日(日) 13:30～15:00

講師 小西 一禎 (千葉科学大学危機管理学部教授、ジャーナリスト)

対象者 四日市市民

参加者 47名(対面36名、オンライン11名)

実施内容 対面とオンラインのハイブリッド方式で講演会を実施。

### 講演の主な内容

・講師の実体験をもとに、自身の価値観や考え方、行動がどう変化したのか。

※講師の実体験とは、マジョリティ(ジャーナリストとして仕事中心の生活)から、マイノリティ(妻の海外赴任に同行し、家事・育児を主で担う)という経験

・固定観念にとらわれず、男性も女性も楽に生きられる社会にするには。

「稼ぐしさ」によって生きづらさを感じていませんか?

はより講演会 妻に稼がれる夫のジレンマ

講師 小西 一禎 さん

会場参加及びZOOMを利用したオンライン参加

2025年10月5日(日) 13時30分～15時

お申し込み先